

## 西宮渡辺病院

当院のHCUは、重症度・高い医療処置が必要な患者さんに対し術後管理、急変対応、集中治療管理を担うユニットとして運用しています。

2025年11月より、HCU病床が8床から16床へと増床し、より専門性が高く、高度治療を必要とする患者の入院受け入れが可能になりました。

外科・内科に問わず急性期疾患を受け入れ、地域密着型ユニットとしての役割を担っています。

看護比率4対1と1人の患者と関わる時間が長くとれることで、個々にあった看護やケアが行え、患者さんだけでなくスタッフの充実感を得られています。



## 西宮渡辺心臓脳・血管センター

当センターのHCUは、2024年10月より、8床から24床へと増床し、より専門性が高く、高度治療を必要とする患者の入院受け入れが可能になりました。

HCUは疾患にとられないため、循環器内科・脳神経外科・心臓血管外科の診療科の患者を受け入れ、手術後やICUから治療が落ち着いた患者を早期に転入させると共に緊急入院も断ることなく積極的に受け入れています。

HCUでは高度な知識や技術が求められるため、認知症や術後せん妄についての理解を深めるよう自己研鑽の推進として院外の研修にも参加を促し、病棟内で認知症研修に約半数が参加することができました。また、研修で学んだ内容を病棟内でアウトプットしHCU全体の看護の質向上に努めました。



## 西宮渡辺病院 整形外科のご紹介

西宮渡辺病院 整形外科は、8名の整形外科専門医と3名の後期研修医が常勤しており、顧問として大阪公立大学整形外科名誉教授の高岡邦夫先生、同じく顧問として滋賀医科大学 整形外科学教授の今井晋二先生（専門分野：スポーツ、肩関節）も診療にあたっております。

当科は、専門性の高い医療と、エビデンスに基づいた医療を徹底し、地域の皆様によりよい医療を提供できるように日々努力しています。

今回は、当院の整形外科に関して各グループごとにご紹介させていただきます。



病院管理者  
佐々木 健陽



副院長  
正田 悦朗  
(外傷)



人工関節センター顧問  
福岡 慎一



整形外科部長  
安原 良典



脊椎センター長  
山下 智也



リハビリセンター長  
大山 翔一郎

## WEB 検査予約システム ご案内

当法人では、医療機関様のパソコンにてオンラインでCTやMRIの検査予約ができるシステムを導入しています。

特徴

- 深夜・休日問わず検査予約の受付が可能です。
- 予約可能な日時をリアルタイムで患者様と確認しながら確認しながら予約ができます。
- ChromeやEdgeなどインターネットを介しての検査予約システムの為、パソコンとインターネット回線があれば利用可能です。

WEB 検査予約システム導入をご希望の際は、下記にお問い合わせください。

電話：080-4183-0066 (9:00～17:00) 担当：井上 または 鳥越

西宮渡辺心臓脳・血管センター 電話：0798-36-1880 Fax：0798-36-1199

西宮渡辺病院 電話：0798-74-2630 Fax：0798-74-0199



## 人工関節センター

2009年4月に当院に設立された人工関節センターは、2024年8月に人工関節手術数が2,000例を突破しました。より専門性の高い技術で安心して安全な治療を提供しています。

2025年の手術件数は全人工膝関節置換術(TKA)39例、単顆型人工膝関節置換術(UKA)49例、全人工股関節置換術(THA)49例、合計137例となり、2024年に比して約20%増加しました。

膝関節においては、症例に応じてUKA、CR型TKA(後十字靭帯温存型全人工膝関節)を施行しています。ポータブルナビゲーションを用いて、より正確な設置をし、患者満足度の向上を目指しています。特に膝関節の内側あるいは外側の半分を置換するUKAはこの10年間で全体の約40%に行い、より患者様の満足度を増しています。

股関節においては、術前に3D Templateを用い、脚長差とOffsetを両側揃えるように計画。カップは基本的にはセメント、スクリューを用いずに固定。関節面はwearの少ないCeramic on CeramicあるいはHighly Crosslinked PE on Ceramicを使用しています。

アプローチは基本的には前方アプローチ(OCM Approach)で筋腱を切除せずに、関節包を温存し縫合しています。皮下脂肪の多い方や筋肉が発達している方、あるいは骨が脆弱な患者様には後方アプローチで施行しています。

また、変形の強い症例には脚長を合わせ、脱臼予防にNeckを変換可能な機種を使用しています。

また、西宮人工関節センターでは、手術中だけでなく術前から術後までの痛みに関しては麻酔科が積極的に関わっており、安全に手術を受けていただけます。痛みや吐き気などの困ったことがあれば、多職種の間術期管理チーム(術後疼痛管理チーム)が解決に向けてサポートしますのでご安心ください。

(人工関節センター 顧問 福岡 慎一)



詳しくはこちらをご覧ください

## 法人関連施設

- 社会医療法人 渡邊高記念会 / 西宮渡辺病院 / 西宮渡辺心臓脳・血管センター / 西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院  
西宮渡辺心臓脳・血管センター 広田クリニック / 西宮渡辺心臓脳・血管センター 東灘クリニック / 勝呂クリニック / 介護老人保健施設ハートケア西宮わたなべ  
グループホームてまりの家 / 定期巡回・随時対応型訪問看護看護事業所わたなべ / グループホーム西宮わたなべ  
サービス付高齢者向け住宅ひだまり / すくすく保育 わたなべ / 訪問看護ステーション西宮わたなべ / 健康塾  
通所リハビリテーション / 居宅介護支援センター西宮わたなべ / 西宮渡辺ヘルパーステーション / 西宮市中央在宅療養相談支援センター
- 社会福祉法人 高明会 / 特別養護老人ホーム シルバートピア西宮 / 居宅介護支援センターはまかぜ

わたなべニュースに対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。

当院各階詰所・1F受付に設置しております 「ご意見箱」 をご利用ください。

【発行元】社会医療法人 渡邊高記念会 法人本部 【TEL】0798-74-2630 【FAX】0798-74-0199

【URL】http://www.n-watanabe-hosp.jp/



URL



LINE

## 肩関節外科

主に土曜日に滋賀医科大学 整形外科教授 今井 晋二 先生が外来診療にあたり、午後からは関節鏡手術や人工肩関節手術を行っており、最先端の高度な技術を地域に提供しています。開始してからまる3年を迎え、毎年、新患外来患者および再診患者数、手術数ともに増えてきています。肩関節外科では最先端で専門性の高い医療を提供できる体制がととのっています。



顧問  
今井 晋二 先生

## 脊椎センター

2020年10月より常勤医による西宮脊椎センターを開設し5年が経過いたしました。

当院の脊椎センターでは、現在最新の脊椎低侵襲手術（**人体の組織へのダメージが軽い手術：片側2ポータル式還流型内視鏡システム**）を施行しています。

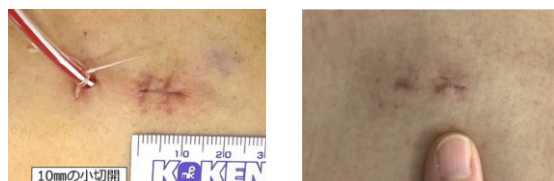
その利点は、

- ①筒を使用せず、カメラの方向と操作の方向が独立しているため、操作の制限が少ない
- ②カメラが細く、これまでは見ることも触ることもできなかった深い組織を手術できる
- ③水を還流させるため、血液の貯留がなく組織判別が良好であり手術の安全性が向上する
- ④操作の自由度が高いため、変形した関節も温存しやすく、内視鏡手術の適応が広がる

全国的にも導入している施設は、まだ非常に少ない手術法で、当院では山下が資格を取得しています。

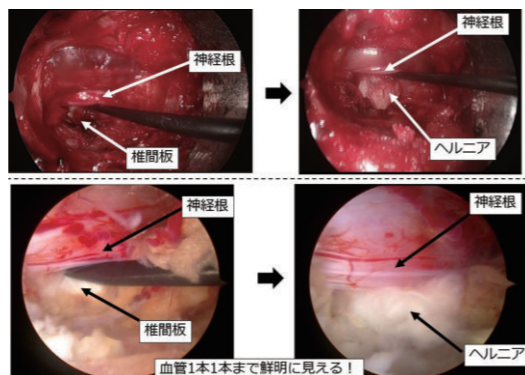
大変良い術式ですが、全ての疾患・患者さんに適応可能なわけではなく通常の手術の方が良い結果が得られることもあり、個別に説明させていただきますので腰椎疾患でお困りの患者さんはぜひ受診いただければと存じます。

（脊椎センター長 山下 智也）



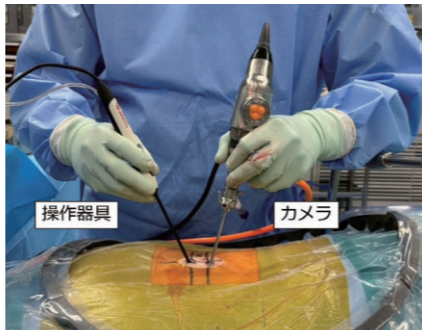
従来の内視鏡 (MED)  
血液が付着し、目標物まで遠い→不鮮明

**片側2ポータル式還流型内視鏡システム (UBE)**  
血液の付着なし  
目標物まで接近可能→鮮明



血管1本1本まで鮮明に見える！

操作器具 カメラ



## 外傷グループ

### — 高齢者の寝たきりゼロを目指す取り組み —

2025年には外傷グループのスタッフ及びレジデントで約500件の骨折など外傷の手術を行いました。その中では、高齢者の骨粗鬆症をベースとした股関節周囲骨折、肩関節周囲骨折、手首の骨折などが圧倒的に多くを占めました。股関節周囲骨折に対しては骨折の部位、形態によって骨をつなぐ骨接合術、人工のものに変えてしまう人工関節置換術や人工骨頭置換術を行っています。

最近では人工関節の手術を受けられる方の増加とともに、その周囲で骨折をされる方も増えています。そのような場合には人工関節の入れ替えも考えて、骨折の治療を行っています。

また、比較的若い方の足関節周囲骨折、鎖骨骨折、手の骨折なども増加しており、手術を中心に治療を行っています。

外傷の治療はタイミングが非常に重要となります。受傷後早急に越したことはないのですが、局所の状態、全身状態、手術器械の準備、手術室の状況などで予定が決まっていきます。適切なタイミングで適切な治療を行うことで、回復後の機能に差が出てきます。手関節周囲や足関節周囲ではそのまま待機すると腫れが強くなり水疱ができたりして手術ができなくなる場合があり、このような場合には創外固定といってピンを数本骨に刺してヤグラのようなものを組んで待機することもあります。

しかし、**高齢者の骨折では手術までに時間がかかってベッド上の期間が長くなれば、筋力が落ちて骨折前の状態に戻ることができないことが多く、早期の手術を目指しています。**

また、高齢者の骨折は骨粗鬆症がベースとなっていますが、その治療が行われていない症例がほとんどです。2022年度から骨粗鬆症対策委員会（2次性骨折予防委員会）を立ち上げ、多職種で骨粗鬆症治療を含めて次の骨折を予防する取り組みを始めています。

さらに、重症の心臓疾患でも法人内の連携を深め、西宮渡辺心臓脳・血管センターで心臓血管系の状態を専門の先生に診ていただきながら、手術が行えるようになってきています。

なお、手根管症候群、ばね指やアキレス腱損傷の手術、膝の関節鏡手術、膝周囲の骨切り術なども外傷グループで行っています。

（副院長 正田 悦朗）



## 骨粗鬆症専門外来

平成20年に日本骨粗鬆症学会 会長もされた高岡 邦男 顧問を中心に骨粗鬆症専門外来を行っています。

高齢者に骨年齢を知ってもらい骨粗鬆症の予防をすることが大切です。近年骨芽細胞を活性化し、骨強度を高める骨形成促進薬や新たな作用の薬がでてきています。

患者さんごとに適切な薬を選択し、積極的な骨粗鬆症治療を提供しています。



顧問  
高岡 邦男 先生

## 部署紹介

## 訪問看護ステーションの紹介



当法人の訪問看護ステーションは、西宮渡辺病院、西宮渡辺心臓脳・血管センターの近くの2か所にあり、13名の看護師が働いています。

訪問エリアは市内全域であり、車や自転車、バイクを使って訪問に向っています。

訪問看護は、寝たきりの方や看取りのイメージを持っておられる方も多いようですが、病気の予防や悪化防止を行うことも訪問看護の大切な役割となっています。訪問看護の利用で薬の管理や生活の改善を行うことで、入退院を繰り返していた方が入院をしなくなったケースも数多くあります。

また、住み慣れた地域で最期までその人らしく暮らしていけるように、ケアマネジャーや多職種での支援も行っています。

これからも急性期から疾病予防まで幅広い支援を行ってまいります。今後ともよろしくお祈りいたします。



### 訪問看護ステーション西宮わたなべ

〒662-0863 兵庫県西宮市室川町11-23  
TEL 0798 (22) 3790



### 訪問看護ステーション西宮わたなべサテライト

〒662-0917 兵庫県西宮市与古道町1-37勝呂クリニック2階  
TEL 0798 (36) 1901

## 西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院 増床します

2026年度、現在の34床から**110床へ**の増床を予定しています。

回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟など在宅に向けての包括的医療を開始します。



## 健康講座のご案内

地域の公民館にて健康講座「**足から健康になりましょう**」を予定しています。

講師は血管外科部長の畑田 充俊 医師とフットケア看護の田中 知子 看護師長よりわかりやすくお話しします。

ご参加お待ちしております！

- 第1回 5月22日（金）13:30～15:00 会場：西宮市立**若竹公民館**
- 第2回 6月24日（水）14:00～15:30 会場：西宮市立**今津公民館**



## トピックス

T O P I C S

1/19  
(月)

**養父市の大林 賢一市長が  
当法人へご来訪いただきました**



令和2年3月に相互に連携と協力を図り、へき地における安定的な医療の確保と地域ニーズに応じた保健医療施策の推進を目的に、当法人及び公立八鹿病院、養父市の三者でへき地医療支援等に関する連携協定を締結いたしました。

現在、週2回（火曜・金曜）、西宮渡辺心臓脳・血管センターより循環器内科医師を同市にある公立八鹿病院に派遣しております。

全国的に地方部での医師不足等による持続的な医療体制の構築が課題となっているなか、養父市における医療体制の整備・維持の貢献への御礼で、今回ご来訪いただきました。

今後も当法人は、地域医療・へき地医療の向上の為、より一層の努力をして参ります。